

令和四年 十一月五日実施

龍谷大学付属平安中学校

ドラゴンテスト問題

受験番号

国語

解答上の注意

- 一. この問題用紙は「はじめ」の合図があるまで開いてはいけません。
- 二. 答えはすべて解答用紙の決められたところに書きなさい。
- 三. 解答用紙の決められたところに受験番号を書きなさい。氏名を書いてはいけません。
- 四. 問題を読むときに、声を出してはいけません。
- 五. 問題内容についての質問は受けません。
- 六. 印刷が読みにくいときは手をあげて監督者を呼びなさい。
- 七. 「やめ」の合図があったら解答用紙をおもて向け、問題用紙を解答用紙の上に置いて、回収が終わるまで席を離れてはいけません。（問題を持ち帰ることができません）

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

※ 棋士の羽生善治さんとiPS細胞を研究する山中伸弥さんの対談です。

羽生 棋士をずっと続けてきて経験的に知ったことがいくつもあります。前例のない手が指され、それをきっかけに※形勢が大きく有利に傾いたとき、その手を「新手」と言います。でも自分が「いい新手を思いついた！」ということがあっても、だいたい他の誰かがすでに思いついている、そう思っただけで間違ったアイデアです。

山中 山中先生の場合は、非常に斬新な発想とAアイデアで研究を進めてこられました。他人と違う発想をするためには、どうすることが大切だと思われませんか。

山中 これは芸術家もそうかもしれませんが、研究者は特に他の人と同じことをやっていてはいけない、面白くない、ということとは誰からも言われるんです。でも、いざ他人と違うことをしようとするとき、※至難の業なんです。僕もまさに羽生さんが今言われたのと同じように、「これはすごいアイデアを思いついた！」と思っても、だいたい他の人がすでに考えていますね。

とくに今、インターネットで誰もが情報を共有する時代です。インターネットが広まる前だと情報が共有されずに、その人しか知らないという特権をもとに、その人だけが考えつくアイデアもあったんですが、今はそれがもう、ほぼなくなっています。論文を発表したら、雑誌が発売される前にオンラインでリアルタイムに世界中に共有されますから。そう

なってくる、①人と違うことをするのは、もうほとんど不可能な状態になってきました。

羽生 そういった中で、独自のアイデア、発想というものは、どのような形に生まれるのでしょうか。

山中 僕がいつも言っているのは、他の人と違うことをやろうと思ったら、三パターンしかないということです。

一つ目は、※インシュタインみたいに、もともと天才というCパターンです。他の人は決して思いつかないことを思いつくことができたなら、まさに※王道ですよ。でも残念ながら、僕はそんなことは一回もありませんし、そんな天才に出会ったこともほとんどありません。これはわれわれ凡人には縁のないパターンです。

二つ目は、他の人も考えているようなことだけれども、一応自分も思いついた。生命科学の場合は、その仮説を実験で確かめます。実験をしてみても、予想通りの結果が出た。それはそれで、それなりにうれいんです。でも、そうしてやっただけで、予想通りの結果ではなく、まったく思いもかけなかった結果が返ってくる場合があります。

そのときがチャンスです。②僕たちはいくら必死に考えても、他人と違うDユニークなことはなかなか思い浮かびません。けれども、自然はまだまだ未知のことではないです。僕たちが実験という手段で自然に問いかけると、まったく意外な反応を示してくれることがあるんです。自然がちよっとヒントを返してくれる、というんでしょうか。

実験をしてみても、予想していなかったことが起こったときに、それに食らいつけるかどうか。それが他の人と違うことをやる二つ目のEチャンスですね。

羽生 自分が予想しなかった結果や出来事が起こったときに、

そこに深く疑問を持つというか、自分なりに原因を考えていくんですね。

山中 そうです。期待していたものとは違った結果が出たときにがっかりして終わってしまうか、それを「これは面白い」と喜べるかどうか、ですね。

三つ目は、自分も他人もみんな「これができたら素晴らしい」と考えているんだけど、「無理だろう」とあきらめて、誰もやっていないことに敗れてFチャレンジャーというパターンです。この三つが、僕の考え得る、他の人と違う研究をするパターンです。僕は、一つ目はもうダメだとわかっているのに、二つ目と三つ目に懸けてきました。

羽生 なるほど。

山中 二つ目がいちばん大切ですね。二つ目を目指す場合は、まず実際に実験をしてみなければなりません。「こんなバカげたこと」などと思わずに、まずやってみることが大切です。やってみて、予想外のおかしなことが起こったときに喜ぶ気持ちが必要です。

僕が大学院生の時、指導教官が立てた仮説を検証するために、血圧に関する実験を課題として与えられたことがあります。僕にとっては初めての実験でワクワクしてやったんですが、仮説とはまったく違う、予想もしないことが起こったんですね。

僕は心底興奮して指導教官の部屋に駆け込んで、「先生、大変です。先生の仮説は間違っていました、すごいことが起こりました」と叫びました。この瞬間、**③僕は自分が研究者に向いていると感じたんです(笑)**。

そのとき、先生も一緒に「それはすごい！」と興奮してくれました。自分の仮説が外れたわけですから、ガック

リと来てもおかしくないのに。そういう先生の存在も、研究の世界に魅力を感じた大きなきっかけになっています。

羽生 研究者としての**※原体験**ですね。

山中 そうなんです。ただ、**④iPS細胞は、実は三つ目のパターンで見つけたものなんですよ。**iPS細胞は二〇〇年ごろに自分の研究室を初めて持ったときに、「せつかく自分の研究室を持ったんだから、何か人と違うことをやろう」と思ったんです。

当時、**⑤ES細胞**がすでにアメリカで開発されていました。その研究の主流は、ES細胞をさまざまな種類の細胞に分化させることです。ES細胞からどんな細胞を作ることができるかをめぐって、世界中の研究室が競い合っていました。

でも、そんな競争に加わっても、人もお金もないこちらに勝算はありません。しかもES細胞は、どんな細胞にも分化できる夢の細胞ですが、**※受精卵**を使わなければいけないので、**※倫理的**に大きな問題がありました。

だったら受精卵を使わずに、大人の細胞を分化する前の初期状態に戻して使えばいいじゃないか。それはみんなが思うことです。思うことですが、「それは無理だろう」と最初から決めつけて手を付けない。そこで僕たちが「じゃあ、やってみようか」と踏み出したというわけです。

この三つ目のパターンはiPS細胞の時だけです。僕のそれまでの研究はすべて二つ目のパターンでした。ボスに言われてやった結果、ボスの予想とはまったく違うことが起こって、ボスは喜んだりがっかりしたりしているんだけど、僕は「しめた！」と異様に興奮している——そんな経験が二、三回ありました。

羽生 他の人たちが手を付けないところに、「じゃあ、やって

みようか」と踏み込めたのはどうしてなんでしようか。

山中 そこなんです。すでにお話したように、もともと僕は整形外科医だったんですね。学生時代から整形外科医になりました。特にけがをしたスポーツ選手を復帰させることを専門にしたスポーツドクターになりたいと思っていたんです。だから学生時代、整形の授業だけは全部一番前で聞いていました(笑)。他の授業は、ラグビーをやっていたり出なかったりで偏っていたんです。

実際、整形外科医になっただんですが、なかなか人生思ったようにうまくいかないですね。そもそも整形外科の患者さんでスポーツ選手は、実はそんなに多くないんです。少なくともいけれども、スポーツによるけがの中でも、※脊髄損傷などとても治せないようなけがや病気の方がたくさんおられました。それでまず、「⑥これはちよつと僕の思い描いていた世界ではない」と参ってしまいました。

それで結局、研究を始めてしまったんですね。でも研究を始めて※愕然としたのは、学生時代サボりまくっていたので、基本をまったく知らないということでした。基本的単語さえわかっていない。

(中略)

山中 いまだに知らないことがいっぱいあるんです。今は減りましたけど、昔は学生さんに授業をすることがあって、特に京大の前には奈良先端科学技術大学院大学は、教育もしっかりしていました。自分の研究室を初めて持たせていただいた大学です。そこは大学院なんですけれども、四月から始めて半年くらいは、ずっと授業をするんです。

だから僕たちも分厚い教科書を順番に教えるんですよ。でも教えていながら、知らないことばかりで、知らないこと

を教えるって「困ったなあ」(笑)。学生さんはけっこう勉強しているのに、僕よりもよく知っているんですよ。「絶対、バレーかな」と思いながら、冷や汗を流して続けていました。でも、その無知さによって、ある意味、怖いもの知らずでやっていました。iPS細胞の研究も、まさにそうです。知識があったら怖くてできなかったと思うんです。でも知らないものだから、「じゃあ、やってみようか」と思えたところがあるんですね。

(山中伸弥／羽生善治 『日本の未来 AIの未来』)

※(文中のことばの意味)

棋士 : 職業として囲碁や将棋をする人。

形勢 : 変化していくものごとの、そのときのようす。

斬新 : 思いつきなどが、非常に目新しいこと。

至難の業 : 非常に難しいこと。

アインシュタイン : ドイツの物理学者。

王道 : もつとも正統的なやりかた。

原体験 : その人のもの見かた、考えかたに大きく影響を与えた体験。

与えた体験。

分化 : 一つのが発達して、さらに細かく分かれること。

倫理的 : 人間のおこなうべき正しい道として。道徳的。

脊髄 : 背骨の中を通って、脳につながっている器官。

愕然 : ひどくおどろくようす。

問1 線A～Fの外來語の意味としてふさわしいものを
あとからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ア 同時。即時。
- イ 挑戦。
- ウ よい機会。
- エ 独特なようす。
- オ 思いつき。着想。
- カ 型。様式。

問2 線①「人と違うことをするのは、もうほとんど不
可能な状態になってきました」とありますが、なぜですか。
最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えな
さい。

- ア 将棋の「新手」がそうであるように、自分が新たに思い
ついたと思ったことは、他の誰かがすでに考えているから。
- イ 芸術家の世界と同じで、研究者は他の人と同じことをや
ってはいけない、それでは面白くないと言われるから。
- ウ インターネットで情報が共有され、その人しか知らない
という特権をもとに考えつくことは、ほぼなくなつたから。
- エ 新しい論文を発表したとしても、その情報はインターネ
ットなどで発信され、まねをする人がすぐに現れるから。

問3 線②「僕たち」とありますが、これはどのような
人を指しますか。それを説明した次の文のa・b
にあてはまる二字のことばを、それぞれ文中からぬき出し
なさい。

アインシュタインのようにaではなく、bである僕たち。

問4 線③「僕は自分が研究者に向いていると感じた」
とありますが、なぜですか。最もふさわしいものを次の中
から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 指導する大学院生が実験に失敗してもガックリと落ち込
むことなく、仮説とは違う結果に興奮してくれるような指
導教官と出会えたから。
- イ 研究者は実験結果が良くても悪くても喜ぶ姿勢を持つ必
要があり、初めての実験にワクワクした気持ちで取り組む
ことができたから。
- ウ 指導教官が立てた仮説とは違う予想もしないことが実験
で起きたとき、教官も考えつかなかつたような仮説が頭に
浮かんできたから。
- エ 予想と違う結果が出たことに興奮して喜ぶ姿勢は、研究
者に求められる、他人とは違う発想を生むことにつながる
と考えていたから。

問5 線④「iPS細胞」、線⑤「ES細胞」について、次の各問いに答えなさい。

(1)「iPS細胞」や「ES細胞」は、どのような細胞とされていますか。文中から十六字でぬき出しなさい。

(2)「iPS細胞」は「ES細胞」とどのような点で違いますか。「く点」につながるように、十字以内で答えなさい。

問6 線⑥「これはちょっと僕の思い描^{えが}いていた世界ではない」とありますが、山中さんは整形外科医としてどうすることを思い描いていましたか。文中から十九字でぬき出しなさい。

問7 山中さんはなぜ他の人が手を付けなかった「iPS細胞」の研究をやってみようと思ったのですか。それを説明した次の文のa・bにあてはまることばを、指定された字数でそれぞれ文中からぬき出しなさい。

iPS細胞の研究に関する
の状態だったから。

a (二字) がなく、

b (七字)

問8 山中さんの考えと合っているとと思われるものを次の中から二つ選び、記号で答えなさい。

ア アイシユタインのようににもともと才能がある人は、棋士としても研究者としても成功する。

イ 仮説が外れ、実験結果が思いがけないものになったとしても、研究者にとっては価値がある。

ウ 世界中の他の研究室に勝つためには、iPS細胞を発見することが唯一^{ゆいいつ}の手段だった。

エ 無理だと思っても誰もしないことに手を付けることが、人と違うことをするために最も大切なことだ。

オ 思いがけず研究者の道に進んだことは、iPS細胞を研究することにつながった。

問9 この対談のテーマは何ですか。最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 他者との違いを生む方法

イ 棋士と研究者の心がまえの違い

ウ iPS細胞の発見の難しさ

エ 無知が生んだ成功のよろこび

□ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

私たちは玄関で、もうどうしようもなくどきどきしていた。とうとうこの日がきたのだ。何日も前からこっそり楽しみにしていた日、お小遣いをだしあつて、四人で準備しておいた計画の実行日。

「きちんと戸閉まりして、早く寝るのよ」

ママが言い、私はたちまち心細くなったけれど、理穂お姉ちゃんは長女らしいおちつきをもつてうなずいた。賢そうな広い額、余裕のある口元。私も九歳になれば、あんな風に大人っぽく振る舞えるだろうか。

「宿題もちゃんとやるのよ」

ママの言葉に、豊お兄ちゃんは愛想よくこたえる。

「うん。わかってるよ」

① 理穂お姉ちゃんが顔をしかめたのと、ママがこう言ったのと、ほとんど同時だった。

「あら、ずいぶん素直なのね」

いつものお兄ちゃんならまず舌打ちし、唇をとがらせて不満気に、わかっているよと言うのが、関の山だ。これじゃ、②胸にイチモツありますって告白してるみたいじゃないの、って（

）が目で諭す。豊お兄ちゃんは慌てて横を向き、③不貞腐れた態度を取り繕った。八歳にもなつて、お兄ちゃんは本当に演技力がない。

「いい子にしているんだぞ」

パパは言い、大きな手で久お兄ちゃんの頭をぼんとたたいてから、私を抱きあげた。細い指で横から私のほつたをつつき、最後にママが言う。

「詩穂ちゃんを泣かせちゃだめよ」

ママの指はつめたくて、香水の匂い。エへへ。いつだって私

は特別扱いだ。まだたったの四歳だし、何といつても末っ子なのだ。④たとえ久お兄ちゃんの方がずっと泣き虫だとしても。

「いつてらつしやい」

私たちは言い、パパとママを見送った。

台所に駆けこむと、冷蔵庫の中にサラダとレモンジュース、テーブルの上にパンとりんごと、電子レンジであたためればいいだけのチキン※ソテー（お皿の下にそれぞれの名前を書いた紙があり、お肉の大きさやつけあわせの量が加減されている）がおいてある。⑤ママのお料理はいつも完璧。だから私たちは虫歯ひとつないし、ママは十年間同じ体重（四十七・五キロ）を維持している。勿論、パパは成人病に罹らない。

「A 行動開始は六時だな」

りんごを嚙りながら豊お兄ちゃんが言った。

「間食！」

久お兄ちゃんが⑥咎め（うちでは、三歳までしか間食が認められていない）、しかしそれは非難というより、羨望の声だった。

「今日はいいいことにしましょう」

暮れていく空を見ながら、横顔でお姉ちゃんが許可をした。

「⑥間食なんてとるにたらないことだわ」

六時になると、もうすっかり暗くなっていた。藍色の空に、白い月が低くひっかかっている。

「いくぞ」

豊お兄ちゃんが言い、私たちはぞろぞろと庭にでた。庭の左端、樺の木の手前に、シャベルで深く穴を掘る。土は黒々としめりけをおび、掘りおこされたミミズをいじっていた久お兄ちゃんは、爪の間がどろどろに汚れた。闇が濡れているみたいに青いので、電信柱の街灯に照らされて、みんなの顔が白くうか

びあがつている。

「いいみたい」

お姉ちゃんが言ったとき、穴はバケツくらい深くなっていた。私たちは台所に駆け戻り、それからまた庭に戻って、ぱつぱつと口をあけた土のバケツに、一人一人パンを投げ捨てた。鮮やかな緑色の冷えたサラダを捨て、チキンソテーを捨て、つけあわせのニンジンとほうれん草も捨てた。その上からレモンジュースをどぼどぼ撒くと、バケツはお腹一杯の、幸福な胃袋みたくに見えた。

「からだにいいものばかりだから大丈夫よ」

私が言い、そうそう、と久お兄ちゃんも言う。

「これで成人病にならずにすむよ」

月はいぶ高い位置にのぼり、私たちは穴にどさどさと土をかけ、幸福なバケツを埋めたてた。

「B よし。食事にしよう」

豊お兄ちゃんを先頭に、私たちはまず手を洗い、うがいをした。それからパーティーみたいにして、ベッドの下に隠しておいた憧れの食べ物——カップラーメン、派手なオレンジ色のソーセージ、ふわふわのミルクせんべいと梅ジャム、コンビニエンスストアの、正三角形のおおきなおむすび、生クリームがつぱいの、百円で売っているジャンボシュークリーム——を思いきり食べた。好きな場所、好きなだけ。理穂お姉ちゃんはおむすびを庭で食べたし、私はベッドの中で梅ジャムを舐めた。お兄ちゃんたちは二人で、げらげら笑いながらお風呂場に隠れてラーメンを啜った。歩きながら食べたり、歌いながら食べたりもした。禁止事項は全部やってみることにしていたのだ。大騒ぎの夜ごはん。時々お姉ちゃんがうつとりと、

「⑦ ああ、身体に悪そう」

とつぶやいて、それをきくと私はぞくぞくした。スリルと罪悪

感。胸の中で、梅ジャムとシュークリームがまざりあう。

片づけがすんだのは九時頃だった。歯を磨いてベッドに入ったとき、私は少し気持ちが悪くなったのだけれど、頭の中は奇妙な興奮で満ち足りていた。I、乱暴で、IIあるくオレンジ色になったときなど、みんな気が狂ったみたいに笑った。すぐくすぐく可笑しかったのだ。思いだして笑っていたら、隣のベッドでお姉ちゃんがこわい顔をした。

「早く寝なさい」

もうすぐパパとママが帰ってくる。私たちの髪をなでながら、ママはきつと訊くだろう。ごはんはちゃんと食べたの、って。私たちはにっこり笑う。うん、食べたわ。とつてもおいしかった。

⑧ 窓の外には大きなお月様。床一面、月あかりに濡れている。

（江國香織 『つめたいよるに』）

※（文中のことばの意味）

関の山 …… 精いっぱい。

ソテー …… 食材を油やバターでいためる調理法。

羨望 …… うらやましく思う気持ち。

問1

~~~~~線①②③のことはについて、文中における意味として最もふさわしいものを次の中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 振る舞える

- ア 成長できる
- イ 準備をととのえる
- ウ 考えをおよぼせる
- エ 行動できる

② 愛想よく

- ア 人あたりよく
- イ 計算高く
- ウ 受け答えよく
- エ 反応よく

③ 答め

- ア わめき
- イ 責め
- ウ けなし
- エ 嘆き

問2

——線①「理穂お姉ちゃんが顔をしかめた」とありますが、どのような気持ちから「顔をしかめた」のですか。最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア いつも通りに対応しなかった豊を見て、両親に対する豊の思いが大きく変化したのではないかという不思議な驚きの気持ち。

イ いつも通り愛想なく答えればいいものを、そのように対応しない豊に対して疑問がわき、その理由をつきとめたいという気持ち。

ウ いつも通りとは違う態度を豊がとったため、秘密の計画を両親に感づかれてしまうのではないかと、豊に対して腹立たしく思う気持ち。

エ いつも通り愛想なく両親に対応することになっていた豊がその約束を破ったために、豊に対していまますます思う気持ち。

問3 ———線②「胸にイチモツありますって告白してるみたいじゃないの、って（ ）が目で諭す」について、次の各問いに答えなさい。

(1) ( ) にあてはまる人物はどれですか。最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア パパ
- イ ママ
- ウ お姉ちゃん
- エ お兄ちゃん

(2) 「イチモツ」が意味する内容と同じことからを表す部分を、これより前の文中から二十三字でぬき出しなさい。句読点も字数に数えます。

問4 ———線③「不貞腐れた態度を取り繕った」とありますが、どのようなことですか。最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア いつものような不貞腐れた態度に変えたということ。
- イ 不貞腐れた態度をうまく隠すようにしたこと。
- ウ あわてて不貞腐れた態度をとりやめたということ。
- エ なにげなく不貞腐れた態度をそのまま続けたということ。

問5 ———線④「たとえ久お兄ちゃんの方がずっと泣き虫だとしても」とありますが、このあとにはどのようなことばが続きますか。最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア エへへ
- イ いったって私は特別扱いだ
- ウ まだたったの四歳だし
- エ 何といっても末っ子なのだ

問6 ———線⑤「ママのお料理はいつも完璧」とありますが、文中のことばを用いて十字以内で答えなさい。

問7 ———線⑥「間食なんてとるにたらないこと」とありますが、何と比べて「とるにたらないこと」なのです。文中のことばを用いて三十文字以内で答えなさい。

問8 ———線A「行動開始は六時だな」、食事を捨てたあと  
の———線B「よし。食事にしよう」ということばは、どのような効果を生んでいると考えられますか。最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 読者の関心を引き出し話の自然な展開に入り込ませる。
- イ 豊お兄ちゃんの自分勝手な性格をはっきり印象づける。
- ウ 読者にこれから何が始まるのかという興味を持たせる。
- エ 豊お兄ちゃんの思いやりにほほえましさを感じさせる。

問9

——線⑦「ああ、身体に悪そう」とありますが、このときの「理穂」の気持ちはどのようなものですか。最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 親には言えない秘密の身体に悪いものを、食べ過ぎたことを少し気にかけている。

イ いつも通りの食事ができなかったので、両親に反発する気持ち表現している。

ウ みんなの協力で計画を成功させることができたが、幼い弟や妹をまきこんだことを後悔している。

エ うしろめたさを感じながらも、自分たちだけの秘密の食事をする喜びにひたっている。

問10

I・IIにあてはまることばの組み合わせとして、最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア I 楽しくて II 賑やかな

イ I 明るくて II 静かな

ウ I 悲しくて II 騒がしい

エ I 恐ろしくて II さびしい

問11

——線⑧「窓の外には大きなお月様。床一面、月あかりに濡れている」とありますが、ここに象徴されている「私」の気持ちはどのようなものですか。それが最もよく表れているところを文中から二十字以内でぬき出しなさい。

問12

本文の内容について、ふさわしいものを次の中から二つ選び、記号で答えなさい。

ア 豊は自分の心理状態が表に出やすいために、時として争いの原因を作ってしまうことがある。

イ 詩穂の目を通して、大人のいない子供たちだけの夜のこと描かれている。

ウ 理穂は兄弟姉妹のリーダー的存在であり、状況に合わせてその場にふさわしい言動ができる。

エ 久はすぐに泣くため両親から特別あつかいされており、そのために詩穂からもばかにされている。

オ 表面的には親のいいなりでも、心の底では親を憎んでいる子供たちの姿がはつきりと描かれている。

三 次の各文の（ ）にあてはまる敬語として、最もふさわしいものをあとから一つずつ選びなさい。ただし、同じものを二回以上使えません。

- ① 校長先生が教室に（ ）。
- ② 明日の三者面談には父が（ ）。
- ③ 私がお客様のお話を（ ）。
- ④ 後ほど、私からお電話（ ）。
- ⑤ 王様はこれから夕食を（ ）。

いたします いらっしゃる うかがいます  
まいります めしあがる

四 次の――線部のカタカナは漢字に直し、漢字は読みを答えなさい。

- ① 各チイキの代表と話し合う。
- ② 日なたの水がジヨウハツする。
- ③ 本をユウソウする。
- ④ 実力をハツキする。
- ⑤ 歌舞伎のカンゲキを行う。
- ⑥ 朝ごはんを食べていないので空腹だ。
- ⑦ これまでの制度を改革する。
- ⑧ しっかりとした土台を築く。
- ⑨ 勝つための作戦を練る。
- ⑩ 新しい記録を樹立する。

これで問題は終わります。